

# 令和3年度 旭地区わくわく事業 実践報告書

令和3年度は、11の団体が、精力的な活動を展開しました！

事業名	団体名	主な活動場所	頁
森は私たちを育て いつかは田舎へ事業	あさひガキ大将養成委員会	旭地区	1
林育推進事業	あさひ根っ子の会	旭地区	3
旭の木を使おまい事業	旭もくもく会	旭地区	5
小渡商店街休憩所整備事業	おどの夢をかなえる会	小渡町	7
ヤギとわくわくプロジェクト	ヤギ飼いの会	旭地区	9
地域の施設とコミュニティ、特色を活かした、魅力ある子育ての環境整備事業	みんなのしきしまプレーパーク	旭地区	11
旭中サンライズプロジェクト事業	旭中サンライズプロジェクト	旭地区	13
地域減災啓発事業	旭GSボランティア	旭地区	15
地域性を活かした景観向上事業	惣田花樹の会	惣田町	17
持続可能な農村モデルづくり事業	歴史と自然豊かな押井づくりの会	押井町	19
東萩平自転車広場整備運用事業	東萩平自転車広場	旭地区	21

## 【旭地域会議からのお知らせ】

より多くの方に、旭地区のわくわく事業の実施状況をお知らせするために、平成30年度から、各団体の活動状況を取りまとめた報告書を回覧しています。

1年間の活動の成果を、ぜひご覧ください！

## 森は私たちを育て いつかは田舎へ事業

団体名：あさひガキ大将養成委員会

代表者：安藤 征夫

補助回数：7

活動場所：旭地区



### 事業の目的

ツリーハウスや遊具づくり、田植え、蜜蜂講座などを通して、子どもの居場所づくり・健全育成を目指すとともに、田舎回帰の想いはぐみ将来の定住に結びつける。

- ①ツリーハウスづくり ②ファイヤーピット、蜜蜂・草木染めなどの自然体験
- ③保護者と子どもが自ら課題を見つけて課題解決に取り組む活動
- ④地元の小学生、園児に自然を活かした取り組みの参加機会を提供

### 今年度の活動内容

- ・道具の使い方教室、蜜蜂の生態調査、お米の作り方などの自然体験を行った。
- ・ツリーハウスや遊具づくりをほぼ毎月行った。
- ・登山、薪割り、草木染、ヒンメリ講座、小遣い稼ぎ（薪割り）、刃物の砥ぎ方、ロープワークなど自然の中で生きる力を育む活動を行った。
- ・豊田市デイズ、矢作新報社・新三河タイムス社の記事、また、こいけやクリエイトによる耕ライフ冊子などの媒体を活用して活動を広く周知した。

### 事業効果

- ・コロナ禍の影響を受けながらもほぼ計画どおりの活動ができた。
- ・参加した子どもたちの成長が目に見えて、保護者からは子どもに自主性ができた、想いを伝えることができるようになった、友達づくりができたなどの評価を多くいただいた。
- ・自然の中で活動することにより田舎志向がさらに強まったとの感触を得た。
- ・この活動に「みんなのしきしまプレーパーク」や旭で活躍する「あさぶろ」のメンバーも加入し活動の幅が広まった。
- ・多くのメディアや行政に活動が評価されて旭の良さ、活動が全国に広まった。
- ・参加者の中から移住希望者が現れ、また未利用農地のレンタルの実績もできて田舎の活性化が促進された。

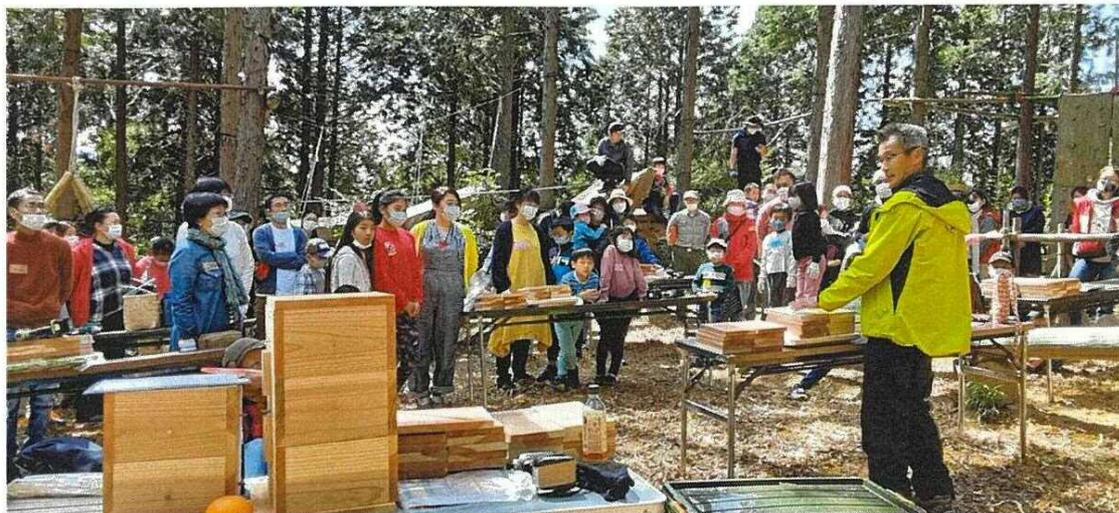
### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

**補助金交付額 1,000,000円**

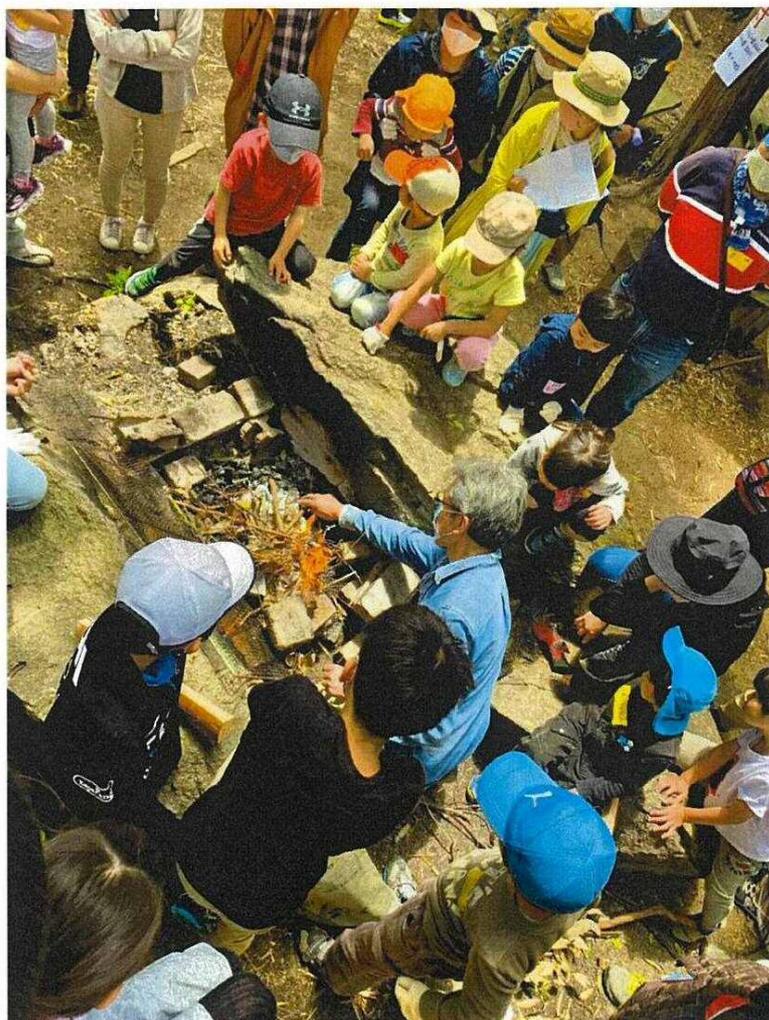
報償費（419,615円）、消耗品費（219,908円）、燃料費（18,181円）、通信運搬費（40,581円）、保険料（2,795円）、使用料（55,226円）、原材料費（243,768円）

## 活動状況

蜜蜂と人間の関りを学びます



自然の中で生きる力 火の付け方、道具の使い方を学びます



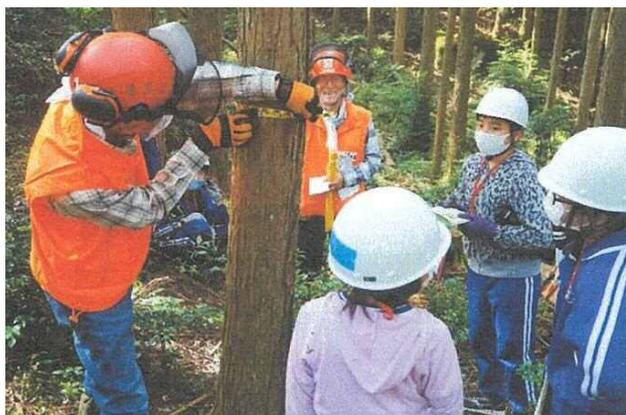
## 林育推進事業

団体名：あさひ根っ子の会

代表者：林 富造

補助回数：6

活動場所：旭地区



### 事業の目的

園児や小中学生、森林所有者、林業に携わる人たちに、森林再生と森林資源の活用の必要性を啓発する。

- ①杉本こども園園児への林育活動（竹馬作り、山や川での工作、アスレチック、川遊び等）
- ②小渡・敷島小学校児童への林育活動（森の健康診断、竹林学習支援、各種見学・体験学習等）
- ③旭中学校生徒への林育活動（間伐体験等）
- ④森林再生と森林資源活用の必要性を啓発するポスター標語と絵の募集、モリ券デザイン画募集
- ⑤材の玉切りや薪割体験等を通じた、旭木の駅プロジェクトの活動に触れる機会の創出

### 今年度の活動内容

コロナ禍の影響もあり、活動の自粛や中止等が多々あり、豊森塾の塾生対象の薪割り体験、小渡小学校全学年児童対象の旭高原元気村での活動などを取りやめざるを得ませんでした。また、敷島小学校では大幅に計画を変更し、会活動への協力要請を減らしたとのことでした。当初の目的であった、森の健康診断や間伐・薪割り体験などの育林活動を「森の健康診断出前隊」と「旭木の駅プロジェクト」の協力を得て実施することができた。敷島小学校では6年生を対象に6年間継続して実施しており、確実に定着してきたようだ。旭中学校から「2年生で行う職場体験学習に向けて職業観を考える」ということで地場産業や観光地を訪れるツアー計画の話があり、2回協力する予定であったが、コロナ禍で1回になった。

### 事業効果

地域学習に力点を置いて計画を立案している先生方にとって、実際に歩いて調べる活動は重要であるが、この旭地区の広さ、点在している見学場所を歩いて調べるのは、交通機関、掛かる時間等を考えると限界がある。レンタカーの用意、講師の紹介や講師を派遣することで子ども達にとっても、大切な学習機会につながり、本活動は十分役割を果たした。特に今回のようなコロナ禍における「まんえん防止」の間隙をぬっての校外学習は、融通が利く本事業の必要性が発揮できたように思う。今年、あさひまつりの文化作品展に育林推進ポスターや活動写真、また地域通貨券・モリ券のデザイン画を展示することができた。今年度、敷島小学校の「森の健康診断など育林活動を育む地域学習」が評価されて「とよしん育英財団」より教育文化奨励賞に推挙され表彰された。

補助金交付額と内訳（補助率 10割）

補助金交付額 164,000円

報償費（2,000円）、使用料（131,450円）、消耗品費（9,480円）、印刷製本費（21,640円）

## 活動状況

2021年度あさひ根っこの会活動  
空明け体験(間伐) 敷島小6年



斜め伐りに苦戦 2021/11/18(木)



掛かり木になり 一呼吸し倒す



受け口完成



まず空を見る ぽっかり穴が開く



全員でロープを引く



倒した木の根元で 全員

## 旭の木を使おまい事業

団体名：旭もくもく会

代表者：伊藤 浩二

補助回数：3

活動場所：旭地区



### 事業の目的

旭地区が豊富に持つ森林資源及び人的資源を活用し、高齢者に健康と生きがいを持たせながら、旭の木材を活用し、統一感のある街並みとして景観を整備し、観光拠点として地域活性と森林の循環的維持を図る。

- ①旭マルシェ会場の旧GSの壁面の木質化及び取り外し可能な屋台カウンターを設置
- ②旭マルシェ等で木工ワークショップを実施し、旭産材をPR

### 今年度の活動内容

旭産木材による旭マルシェ会場の木質化を実施した。

コンクリート面木質化 4.5㎡、屋台 2 棟、ポスター掲示板 1 基、木工体験 1 1 回

### 事業効果

旭産木材の活用により高齢者の生きがいづくり及び地域木材産業の活用地域産材のPRを行った。

### 補助金交付額と内訳（補助率 10割）

#### 補助金交付額 521,000円

原材料費（251,000円）、報償費（32,000円）、使用料（152,000円）、手数料（67,000円）、保険料（19,000円）

# 活動状況

**旭もくもく会**  
伊藤様

**間伐材の活用案集**

1枚目: 具体的な絵  
2枚目: 1枚目についての文章説明

① 節の置き場向けの間伐材の活用案  
② 節マシエ業者向けの間伐材の活用案  
(1) ノベルティ  
(2) 工作体験

愛知学農大 旭もくもく会グループ(後半組)



## 小渡商店街休憩所整備事業

団体名：おどの夢をかなえる会

代表者：鶴居 利行

補助回数：2

活動場所：小渡町



### 事業の目的

小渡商店街の中心部に休憩所を整備することで、観光客や地域住民の満足度を向上させ、情報発信の拠点として活用することで、地域の活性化につなげる。

- ①多目的展示スペースに小渡小学校の生徒の作品を展示
- ②LED照明の設置
- ③天井の木質化、隣室との仕切り、地域産材を活用した多目的テーブルの作成、看板の作成

### 今年度の活動内容

- ・打合せ（5/25、6/12、7/4、10/13、2/10）
- ・展示スペース活用（小渡小学校作品展示 6/29-8/31）
- ・天井木質化工事（10月-1月）
- ・観光宣伝PRを実施

### 事業効果

夏の観光シーズンに合わせ、小渡小学校児童の作品展示を行い、買い物客や観光客から好評を得ることができた。

観光シーズンの終了を待って、旭産の材を使い天井の木質化などに取り組んだ。

年間の活動を通じて多くの方に休憩所を利用していただき、とても良かったと思います。会のメンバーではない地区住民の人も積極的に協力していただき、地域と一体となって活動できたことは本当に嬉しく思いました。

来年度以降は、もっと積極的に利用していただけるよう、会のメンバーや地区住民の意見を取り入れながら活動をしていきたいと思ひます。

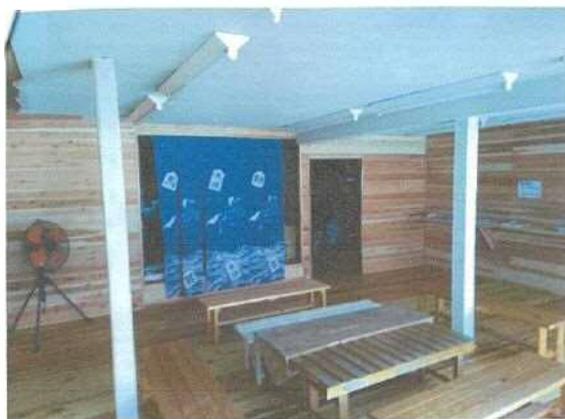
### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

**補助金交付額 582,000円**

備品購入費（148,500円）、工事請負費（126,621円）、原材料費（307,414円）

## 活動状況

### 隣室との仕切りの製作



着工前



仕切り完成

### 旭産材を利用した天井の木質化



着工前



天井解体作業① (9/5)



天井解体作業② (9/5)



木質化完了

## ヤギとわくわくプロジェクト

団体名：ヤギ飼いの会

代表者：川合美佳

補助回数：4

活動場所：旭地区



### 事業の目的

生き物との交流の場を提供することで、子どもたちに命の大切さや温かさを感じてもらい、学びとする。また、高齢者には元気を与え、生きがいづくりに貢献する。地域材の有効活用により、その価値の再考を促し、旭の恵み（山の幸）として享受する。

- ①出張ヤギのふれあい会を実施、ヤギ乳を利用したワークショップを実施
- ②旭地域材を活用したファームを拡充
- ③ヤギによる除草実験（耕作放棄地や畑の除草実験）

### 今年度の活動内容

- ・【出張ヤギふれあい会】旭地区内に出張し、ふれあい会を実施（全12回）
- ・【ファーム開放】訪れる人にヤギとのふれあいの時間と場所を提供（常時）
- ・【乳しぼりワークショップ】乳しぼり体験とヤギ乳キャラメルづくりを開催
- ・【雑草実験】耕作放棄地にて除草実験実施
- ・【ファーム拡充】よりよい環境づくりに取り組んだ
- ・【勉強会】飼育の指導を受けた（全2回）

### 事業効果

今年度は、ヤギを飼い始め2年目ということで、旭地区内でも周知度、認知度が確実に上がり、人々がヤギに何を求めているのかを実感すると同時に、ヤギのますますの可能性を模索する年となりました。

【出張ヤギふれあい会】「ぬくもりの里」や「あんじゃない」の協力を得て、高齢者の方々と触れ合うことができました。初めての方も何度目かの方も、ヤギをあたたかい眼差しで迎え入れてくれ、一緒に癒しの時間を過ごすことができました。

【除草実験】延べ1か月ほど行いましたが、朝晩の送迎が大変で、ヤギの食事時間とズレていたり、夏は日中暑すぎたり、溝から脱走したり、満足な結果を得るためにはまだまだ多くの課題があることが浮き彫りになりました。

### 補助金交付額と内訳（補助率 10割）

**補助金交付額 258,000円**

報償費（80,000円）、消耗品費（93,733円）、使用料（66,000円）、原材料費（19,000円）

## 活動状況



### 【出張ヤギのふれあい会】

旭地区内で、ヤギを連れて出張し、ふれあい会を行いました。(全12回)



### 【ファーム開放】

代表者宅にあるファームを開放し、訪れる人にヤギとのふれあいの時間、場所を提供しました。(常時)

## 地域の施設とコミュニティ、特色を活かした、魅力ある子育ての環境整備事業

団体名：みんなのしきしまプレーパーク

代表者：柳澤 二郎

補助回数：2

活動場所：旭地区



### 事業の目的

子どもが自由に遊び学ぶことのできるプレーパークを設立することで、地域の子どもたちの「活動の場」と世代を超えた住民の「交流の場」を創出する。より良い子育て環境をつくり、次世代にとって地域の魅力創出につなげる。

- ①敷島会館前広場にて、月1回プレーパークを開催
- ②見守り専任者の配置、薬箱、道具類の調達及び作成

### 今年度の活動内容

感染症の影響で難しい状況であったが、スケジュールは遅れながらも、当初予定のなかった協力も得られ効果的に開催できた。

### 事業効果

地域の方々から、物品提供のご協力のお申し出を多くいただき、子どもに対する優しさや子育て環境に対する行動力といった地域の魅力を一段と「見える化」することができた。

まちさとみらい塾参加、トヨタ自動車株式会社提供による工作体験、くるま座ミーティング参加や映画上映会開催など発信力のある取り組みができた。来年度に向けて更なる協業と発信力強化に期待ができた。

### 補助金交付額と内訳（補助率 10割）

#### 補助金交付額 536,000円

報償費（162,599円）、旅費（25,380円）、消耗品費（137,260円）、印刷製本費（16,780円）、使用料（86,670円）、手数料（10,958円）、原材料費（26,488円）、備品購入費（69,865円）

## 活動状況

### 7月23日(金・祝)

参加 46名 (子ども22名/大人24名)



### 8月9日(月・祝)

雨天のため、関係者のみで開催  
参加 8名 (子ども2名/大人6名)



### 9月23日(木・祝)

参加 29名 (子ども16名/大人13名)



## 旭中サンライズプロジェクト事業

団体名：旭中サンライズプロジェクト

代表者：後藤 光弘

補助回数：2

活動場所：旭地区



### 事業の目的

旭をふるさととする旭中学校の生徒が、仲間や地域の人々と共働しながら課題を解決するために、旭中学校の教育課程での学びを生かし、地域の活性化を目指し活動することを目的とする。

- ①旭の食材を生かした旭ジビエグルメ「肉の計画案（仮）」の企画立案と商品化
- ②「さんさん旭さん」やInstagramを活用した、R3年度の活動や旭の魅力を発信する広報活動
- ③旭中地域会議（全校生徒）の実施

### 今年度の活動内容

- ・山恵、猟師の清水さんにより、獣害やジビエ肉についての学習会
- ・ちんちゃん亭との共働でのジビエ料理開発、販売
- ・あさひ照らすにて、旭バーガージビエ販売（9/19）
- ・耕ライフマルシェにて、旭バーガージビエ販売（10/2）
- ・ジビエマルシェにて、旭バーガージビエ販売（10/23）

### 事業効果

ジビエ料理開発、販売に向けてジビエ肉を扱う業者や猟師の方から、獣害やジビエ肉の活用方法など専門的知識を学ぶことで、旭地区の獣害の課題をとらえながら、どのような地域活性化の活動に発展するとよいか考えることができた。

また、地元の飲食店ちんちゃん亭と共にレシピを開発、販売をしたことで、学校の仲間だけでなく地域の人と共働するよさを実感した。SNS発信などの方策により、旭地区以外の多くの方にもジビエバーガーを食べていただき、旭地区を広く知ってもらおう一助となった。

### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

#### 補助預金交付額 191,000円

報償費（9,000円）、消耗品費（42,534円）、賄材料費（62,021円）、委託料（67,500円）、手数料（9,945円）

# 活動状況



## 地域減災啓発事業

団体名：旭GSボランティア

代表者：安藤 福平

補助回数：7

活動場所：旭地区



### 事業の目的

高齢化と過疎化が進む中、大地震・風水害への備えとして「自分の命は自分で守る」ことへの住民への意識付けと平常時に地域住民への減災知識啓発を行うことで、発災時の被害を減らすことを目的とする。

- ①地域行事やイベント（あさひまつり・ぬくもり祭・地域ふれあいサロン・防災訓練など）での啓発活動
- ②飛散防止フィルム貼り講習会・減災講演会等の企画開催

### 今年度の活動内容

- ・ロープワーク、テントの張り方についての自主研修（7/25）
- ・豊田災害YCO2連絡会と土のうのつくり方、災害食の勉強会に参加（9/25）
- ・押井集会所にてガラス飛散防止フィルム貼りの講習会実施（12/5）

### 事業効果

この地区ではしばらく大きな災害が起こってなく、災害に備える会員及び住民の意識が低下しつつある中、今年もコロナ禍により、活動が縮小されたが、3件の事業を実施することができた。

今後も、いつどこで災害が発生しても不思議でない世の中、地域の方が少しでも被災しないよう、会員も含め知識向上と意識の啓発を涵養することと、この活動を通じて顔の見える関係づくりに努めていくことが大切であると考えます。

### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

#### 補助金交付額 57,000円

保険料（6,975円）、食糧費（3,894円）、通信運搬費（324円）、使用料（1,728円）、消耗品費（2,732円）、備品購入費（41,580円）

## 活動状況

令和3年7月25日 ロープワークテント張 研修会



令和3年9月25日 豊田災害YCO2との勉強会



## 地域性を活かした景観向上事業

団体名：惣田花樹の会

代表者：三宅貞夫

補助回数：6

活動場所：惣田町



### 事業の目的

町内定住した転入者や町内作業協力団体とともに町内会の活性化や景観向上に取り組み、美しさと魅力あるまちづくりを実現する。

- ①既存の放置場所を整備（草刈り・雑木伐採）、花木（チューリップ）の植樹
- ②数年前にわくわく事業で植樹した花・樹木の剪定等

### 今年度の活動内容

- ・登坂用鎖の取り付け
- ・チューリップ苗付け
- ・雑草地整備作業実施
- ・枝打ち作業実施

### 事業効果

会員の協力により、町内所有林の整備作業もでき、町内会との和合作業の向上に繋ぐ事ができてよかった。

### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

#### 補助金交付額 129,000円

消耗品費（50,648円）、食糧費（10,698円）、燃料費（17,865円）、使用料（15,840円）、筆耕翻訳（14,850円）、原材料費（19,720円）

## 活動状況



## 持続可能な農村モデルづくり事業

団体名：歴史と自然豊かな押井づくりの会

代表者：鈴木 辰吉

補助回数：3

活動場所：押井町



### 事業の目的

押井町内の貴重な歴史資源と周辺の豊かな自然環境を守り、関係人口となる人々の助けを活かし、ともにつくる持続可能な農村モデルを探求する。

①交流拠点づくり（普賢院清掃、庭園の池清掃とビオトープづくり） ②ふるさとアーカイブ（自然観察会、人物アーカイブ、押井村誌解読） ③里山回復活動、人工林間伐と広葉樹林回復活動 ④自然環境保全（ふくろうの生息調査・巣箱づくりワークショップ・巣箱かけなど）

### 今年度の活動内容

【交流拠点プロジェクト】普賢院を交流拠点としたコミュニティづくりと重要文化財の整備保全。

【ふるさとアーカイブプロジェクト自然編】押井町の人物、歴史、自然の取材記事、調査及び記録をホームページに掲載することで地域資源の魅力を見える化し、後世に残す。

【ビーフォレストプロジェクト】環境指標となる日本みつばちの養蜂を通して、人と自然との調和や生き方について学ぶ仲間を増やし、ふるさとの豊かな森を育む環境活動。

【ふくろうプロジェクト】環境指標となるふくろうの生育状況を調査し、里地里山環境考察。人と自然との調和がとれたふくろうとともに生きる里を目指す。

### 事業効果

・おかげさまでホームページのコンテンツも充実してきた。

・コロナ禍の中でもイベントをほとんど中止することなく実施することができ、関係人口との関係性を深めることができた。

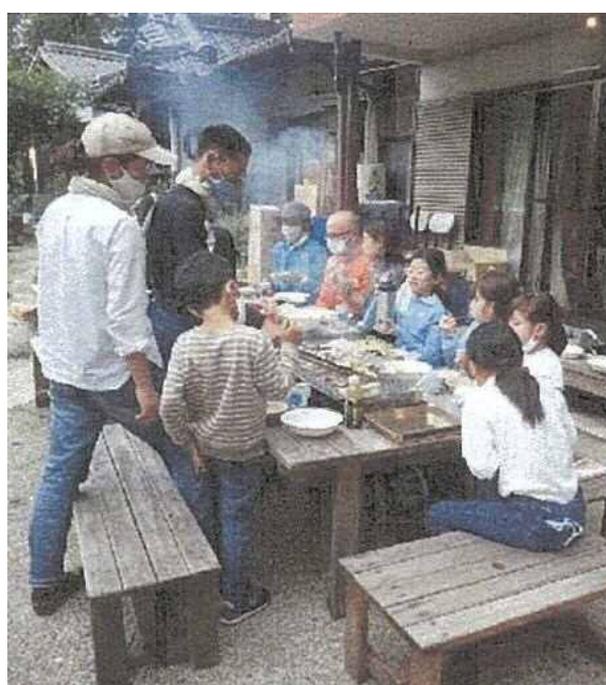
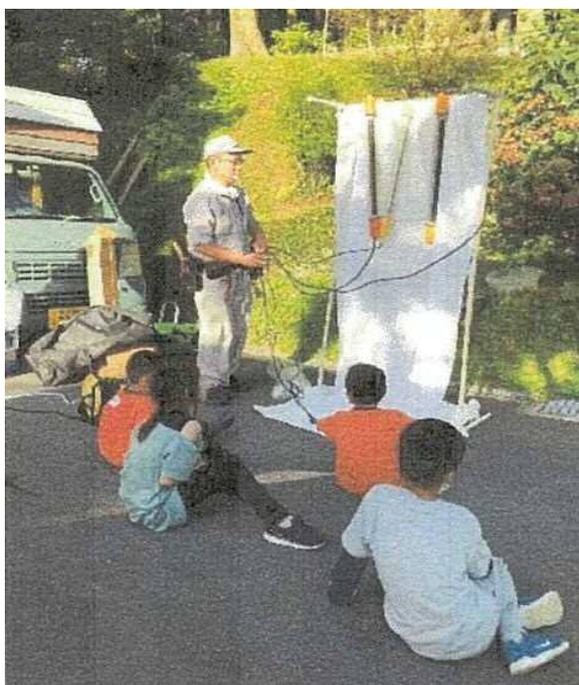
・ビーフォレストプロジェクトでは、課題も残したため、来年度は改善が必要である。

### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

**補助金交付額 441,000円**

消耗品費（31,500円）、燃料費（2,844円）、筆耕翻訳費（27,000円）、委託料（364,864円）、原材料費（15,254円）

## 活動状況



## 東萩平自転車広場整備運用事業

団体名：東萩平自転車広場

代表者：深谷 暢樹

補助回数：1

活動場所：旭地区



### 事業の目的

子どもたちが自転車で自由に遊べる広場を整備し常設することで、子どもたちが自動車の往来を気にすることなく自転車に親しめる場所を提供する。自転車遊びというスポーツで、子どもたちの健全育成の一端を担う。

- ①東萩平公民館横に自転車広場を整備し、常設する（保守管理含む）
- ②子どもを対象にした試乗会や自転車交通安全教室の開催

### 今年度の活動内容

- ・子どもたちを対象に、自転車での車道の通行方法や信号のない交差点の右左折方法等をテーマに、東萩平町にて「秋の自転車交通安全教室」を開催（9月23日）
- ・東萩平自転車広場の常設公開開始、お披露目会を開催（10月9日）
- ・子どもたちを対象に、自転車での歩道の通行方法や信号のある交差点の右左折方法等をテーマに、杉本町にて「冬の自転車交通安全教室」を開催（12月4日）

### 事業効果

広場の常設公開開始後、自転車遊びのみならず、地域の子どもたちの遊び場として活用されており、保護者たちの交流の場ともなっている。

自転車交通安全教室は、親子での参加が多く、企画意図に沿った自転車交通安全の意識向上を図ることができた。

### 補助金交付額と内訳（補助率 9割）

#### 補助金交付額 470,000円

工事請負費（414,900円）、原材料費（37,139円）、印刷製本費（13,482円）、手数料（5,405円）

## 活動状況

